

追加（オプション）検査項目料金表（2015年）

申込 番号	検査項目	検査説明	料金
1	大腸がん検査 (便潜血反応)	大腸がんでは、大腸粘膜にできたがんが便に接触し出血するため、便に血液が混ざる特徴があります。便潜血反応はこの出血を見つける検査です。人間の血液だけに反応するので食事制限の必要がありません。自覚症状がない早期にがんを発見できる検査として、広く行われています。	1600円
2	胃がん血液検査 (ペプシノゲン)	ペプシノゲンは、胃で作られる蛋白質分解酵素ペプシンのもとになる物質です。血液中のペプシノゲンを測定する事により、胃がんになる前の胃の萎縮（いしゅく）・胃の老化の程度を調べ、胃がんになる危険性の高い人を見つける検査です。	2100円
3	前立腺検査 腫瘍マーカー (PSA) ※男性対象	PSAとは、前立腺に特異的なたんぱく質の一種で、前立腺がん、前立腺肥大、前立腺炎などで血液中のPSA値が上昇します。前立腺がんの早期発見にはPSA検査が有効です。特に50歳以上の男性の方、年1回の検査をお勧めします。	1500円
4	肺がん検診 (喀痰細胞診)	肺や気管支から出てくる喀痰の中の細胞を検査する方法で、肺がんの早期診断に役立つ検査です。レントゲンでは、肺の入り口付近が食道や心臓に隠れてわかりにくいいため、肺の入り口付近にできたがんの発見には、喀痰細胞診検査が有効です。	2700円
5	胃部抗体検査 (ヘリコバクター ピロリ菌検査)	H.ピロリ感染は、消化器性潰瘍、慢性萎縮性胃炎、胃癌などの発症に深く関与していることが明らかになりつつあります。血液をとってH.ピロリに対する血液中の抗体を測定することで感染しているかどうかを判定します。	1500円
6	血清検査 (HBs抗原) (HCV抗体)	B型肝炎、C型肝炎のウィルス検査です。急性肝炎、慢性肝炎の原因のひとつにウィルスによる肝機能障害があります。肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、肝炎ウィルスに感染していても自覚症状がなく重症化するまで気づかないケースもあります。一度は検査しましょう。	2200円
7	血液型検査 (ABO型) (RH型)	血液型A・B・O式とRH式を調べます。	1000円
8	眼底検査	目をカメラにたとえると、フィルムに相当する「網膜」という部分と、脳につながっている「視神経」の部分がありますが、これらを眼底といいます。この検査で網膜などの眼球の病気のほか、動脈硬化や糖尿病、高血圧などの血管に異常の起こる病気も発見できます。又、眼底の血管に異常が見られれば、脳の血管にも異常が起きていると考えられます。	1000円
9	腹部超音波検査 (腹部エコー)	超音波をつかって、肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓などの腹部の臓器を調べることで、胆石、脂肪肝、胆嚢炎、尿路の結石、肝硬変、肝がんなどが発見できます。 ※ 飲食の制限があり、午前中だけの検査となります。	3100円
10	骨密度検査	骨量が低下していないかを調べる検査で、おもに骨粗鬆症を診断する検査です。踵骨（かかとの骨）に超音波を当てて測定します。	800円
11	胃がん リスク検診 (ABC検診)	胃の健康度を調べる検査です。胃粘膜萎縮マーカーのペプシノゲン検査と胃潰瘍、十二指腸潰瘍の原因と言われているヘリコバクター・ピロリ検査の2種の血液検査を組合せて、胃の健康度に応じてABCに分類し、このリスクに応じた検診間隔を設定し、効率的に検診を行う方法です。	3600円

※ 午前に受診される方は朝食を、午後に受診される方は昼食を控えての受診となります。